

市議会定例会

平成24年第4回常陸大宮市議会定例会が、12月5日から20日まで開会され、次の議案が審議され、それぞれ承認、可決、同意されました。

専決処分の承認

○平成24年度常陸大宮市一般会計補正予算

条例

○常陸大宮市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

○常陸大宮市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例

○常陸大宮市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例

○常陸大宮市市営住宅等整備基準を定める条例

○常陸大宮市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例

○常陸大宮市都市下水道条例

○常陸大宮市市道の構造の技術的基準等を定める条例

○常陸大宮市準用河川条例

○常陸大宮市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

○災害対策基本法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

○常陸大宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市障害者介護給付費等審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市立学校設置条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市社会体育施設条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市市営住宅条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市都市公園条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市公共下水道条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市営牧場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

平成24年度補正予算

○常陸大宮市一般会計・特別会計（8会計）補正予算

人事

（敬称略）

○教育委員会委員の任命について

菊池 泰弘（照田）

星野 幸子（鷹巣）

その他

○大宮地方環境整備組合規約の変更について

○指定管理者の指定期間の変更について（2件）

○字の区域の変更について

○市道路線の廃止及び変更について

芸能発表会を開催

11月4日、山方、美和、緒川、御前山地域合同の文化祭芸能発表会が緒川総合センターにおいて、盛大に開催されました。市の文化協会に加盟している団体等で今年は23団体に、日頃の練習成果を発表しました。屋外では模擬店も出店し、晴天の中500人を超す来場者でにぎわいを見せていました。



く広報12月号に誤りがありました。P8まちなでまごど「グリーン作戦実施」写真のキャプション 誤 緒川地域 正 山方地域 お詫びして訂正します。

赤岩遺跡・三美中道現地説明会

平成24年8月から三美地内にて、畑地帯総合整備事業に伴う遺跡の発掘調査が実施されました。去る11月17日に現地説明会が行われ、悪天候の中でしたが地元住民等約50人の参加がありました。

今回の調査では、縄文時代の住居跡や食料の貯蔵に使われた堅穴が多く見つかかり、環状の集落の存在が確認されました。



また、幅約5m、深さ約3mの室町時代の堀跡も見つかり、ここに城館が存在したと考えられます。堀跡が見つかったのは、昭和58年に埋納金が出土した土地のすぐ近くである

ため、三美に伝わる民話※「長者と牛石」との関連性が注目されるどころです。

※長者と牛石

働き者だったある若者が、長者になると家を立派にすることに夢中になり、飼っていた牛の老いに気付かず、死ぬまで働かせてしまい、悔やんで牛の形をした石、牛石を墓近くに置き、供養したという話

北斗星新そばまつり開催

11月23日、みわ★ふるさと館北斗星（道の駅みわ）で、北斗星新そばまつりが催されました。



小雨が降る中、新そば試食販売コーナーには、開始1時間前から行列ができ、訪れた方たちは収穫されたばかりの新そばの香りや味わいを楽しんでいました。

また、地元のそば打ち愛好会の方によるそば打ちの実演コーナーや手打ちそばの販売なども行われ、にぎわいを見せていました。

味覚祭が開催されました

11月25日に塩田地区で塩田ふるさと協議会（大貫孝夫会長）主催の味覚祭が開催され、お米・そばのオーナーのほか、今年度は市国際交流協会の協力で、たくさんの方の外国の方も参加しました。

参加者は門松作りを体験。なかなか簡単にはいかず、地元の方に教わりながら門松を完成させました。この他に参加者がクリスマスリースの作り方を教えたり、茨城大学学生が凧の作り方を教えたりしました。

お昼には、杵で餅をつき、数種類に味付けされた餅をおいしく食べ



した。

また、塩田そばの会の方が打ったそばを地元野菜たっぷりのけんちん汁でいただき、秋の味覚を堪能しました。



善意をありがとう

敬称略

〈常陸大宮市へ〉



水戸ヤクルト販売(株)常陸大宮センター
放課後子ども教室で使用する非常用メガホン 9台

グリムの世界へ

12月1日、「はみんぐばあどのクリスマスおはなし会」が図書館で開催されました。これは読み聞かせのボランティアをしているおはなし会のグループ「はみんぐばあど」が毎年行っている恒例のイベントで、たくさんのお親子が集まりました。「赤ずきん」や「しあわせハンス」、「ブレーメンの音楽隊」など、有名なグリム童話を、人形劇や朗読で楽しく話してくれました。

また、グリム童話に関する本などなど、子どもたちはすっかり物語



の世界に入り込み、夢中で聞き入っていました。
ツリーをはじめ、きらびやかな飾り付けがされた会場で、クリスマス気分を味わいました。

かがやきまつり開催

12月2日、第7回常陸大宮市かがやきまつりが、市総合保健福祉センター（かがやき）で開催されました。式典では、保健衛生功労として4人の方へ市長表彰が行われ、ふれあいステージでは、太鼓や合唱等が催されました。また、屋内外では歯科相談、健康相談や模擬店等が行われ、にぎやかな一日となりました。



森林教室が行われました

12月6日、市内の山林において村小学校の6年生を対象とした森林教室が行われました。児童たちは、茨城県県北農林事務所大子林業指導



所の職員の方の指導のもと、森林についての知識を学び、杉や松の間伐を体験しました。初めて木を切った児童も多く、木が倒れた時には、大きな歓声を上げていました。



▲切った木は輪切りにして、手作りコースターに

いっしょにまちづくり

まちづくりは“つながり”から

トリングル・ユナイテッド

代表 鹿島 拓人さん

人・暮らし・自然・風景…県北の強みである資源をどう活用していくか。人と人、物と物、事と事、一つ一つの小さな“つながり”からまち

づくりはできてくると思います。

11月、市民大学講座「茨城県北地方のまちづくりを考える」を受講し、“新しく何かを作る必要はない、あるものを生かす”“交流によるまちづくり”など、茨城大学の先生方から興味深いお話をいただき、よい学びの機会となりました。

人口減少・高齢化が進む中、それぞれがつながりを持ち、市内だけではなく奥久慈や県北地域全体で協働・連携し、考えて行動していかなければなりません。

私たちは、若者による若者からの地域活性化を目指した団体を立ち上げ、自然・あそび・趣味を通じて若者のコミュニティーを広める活動をしています。

これからの地域の未来を築いていく若者の一人として、自分たちの未来を自分たちで作るという理念のもと、市民大学講座で得た知識を生かして、これまでにない切り口から地域外へ情報発信をし、地元の再発見・再認識につながるよう今後も活動したいと思います。





木村 一郎さん

昭和57年4月、山方町体育指導委員に就任。現在は市スポーツ推進委員会研修部長として、地域住民のスポーツ活動に対するニーズに対応した研修の実施に努め、スポーツ推進委員の資質及び指導力の向上を図るなど、中心的役割を担い活動されています。



三次 弘史さん

昭和57年4月、山方町体育指導委員に就任。平成15年4月から平成16年10月まで那珂郡体育指導委員連絡協議会会長を務め、地域のスポーツ振興に尽力され、現在は市スポーツ推進委員会副委員長として、地域住民のニーズを踏まえ、市内スポーツ活動の発展に多大なる貢献をされています。

スポーツ推進委員としての
功績を称え
30年勤続スポーツ推進委員表彰

永年にわたり活躍されている2人の市スポーツ推進委員が、第53回全国スポーツ推進委員研究協議会（11月29・30日長崎市）において表彰を受けました。

11月16日～19日、第29回全国シニアバドミントン選手権大会がさいたま市で開催され、55歳以上男子シングルスの部で、山方在住の小口弘之さんが見事優勝を飾りました。

全国シニアバドミントン大会で
優勝！



女性消防団
活動事例発表



▲約2,500人の参加者の前で、発表する三次雅子部長

11月16日、第18回全国女性消防団員活性化秋田大会が開催されました。全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果をアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深めることを目的に開かれたもので、三次真一郎市長や岡山勝彦消防団長をはじめ、多くの関係者が出席しました。

また、活動事例発表の一団体として常陸大宮市が選ばれ、市消防団女性分団の三次雅子部長が「表舞台の女性消防団 陰で力を惜しまない女性防火クラブ」というテーマで、活動を紹介しました。

米海軍横須賀基地で研修



12月13日、市女性防火クラブ連絡協議会（三次雅子会長）の研修会が行われ、米海軍横須賀基地を訪れました。

研修会では、米国における幼児への火災・防災教育について講話を聞き、消火方法や避難方法、消火訓練など、日本と異なる教育方法について理解を深めました。

研修会に参加した柏貞子さんから「講師の先生のお話は、私たちの心に深く響き、意欲をかきたてられた。今後、研修した内容を多くの人に広め、新たな自覚を持って防火活動に努めていきたい」との感想が寄せられました。